

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
平成 26 年度第 4 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 26 年 7 月 12 日 (土)  
午後 13 時 30 分から午後 17 時 00 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 8 階 843 号室  
(東京都文区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名  
出席理事 13 名 (定足数 11 名 会議成立)  
オブザーバー 5 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員  
理事 津田 敏隆  
理事 川幡 穂高  
理事 木村 学  
理事 中村 正人  
理事 瀧上 豊  
理事 田中 賢治  
理事 西 弘嗣  
理事 畠山 正恒  
理事 濱野 洋三  
理事 日比谷 紀之  
理事 古村 孝志  
理事 村山 泰啓  
理事 渡邊 誠一郎  
監事 北里 洋  
監事 松浦 充宏
6. 出席オブザーバー  
宇宙惑星科学セクションプレジデント 佐々木 晶 (TeleOffice 出席)  
地球人間圏科学セクションプレジデント 氷見山幸夫  
固体地球科学セクションプレジデント 大谷 栄治

大気水圏科学セクション幹事 川合 義美  
地球人間圏科学セクション幹事 須貝 俊彦

午後 13 時 30 分、理事の定数に足る出席があったので、会長津田敏隆は議長席に着き、開会を宣言した。

## 7. 報告事項

### (1) 2015 年大会準備状況関連報告 (濱野理事) 資料 P. 1-3

2015 年大会の準備状況について報告があった。現在、5 月 24 日 (日) から 5 月 28 日 (木) の 5 日間の会期での開催を予定している。ただし、29 日 (金) を予備日として、幕張メッセ国際会議場をおさえている。

### (2) ジャーナル関連報告 (川幡理事) 資料 P. 4-11

ジャーナルの状況について報告があった。平成 25 年度の実績報告があった。3, 500, 000 円の繰越が発生したが、平成 26 年度の執行が認められた。26 年度は 31, 700, 000 円が交付される。

7 月 2 日 (水) にジャーナル編集長会議を開催した。

現状の編集システムに使いにくい部分があるという声があるが、新しい編集システムへの移行の準備が進んでいる。

トムソンロイターへの申請も予定しており、準備をすすめている。

7 月 29 日 (火) AOGS 会期中に編集委員会会議を予定している。

### (3) 委員会報告

#### 総務委員会報告 (事務局による代理) 資料 P.12

現在までに承認された本年度の共催・協賛・後援について報告があった。

### (4) その他

#### 教育検討委員会 (畠山理事) P.13-15

理数系学会教育問題連絡会によるシンポジウムを予定している。連合も共催として協力することを要請したい。後ほど正式な申請を行うとした。

## 8. 審議事項

### 第 1 号議案 会員 (正会員) 入会承認の件 (事務局による代理) 資料 P. 16-18

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者を承認した。

第 2 号議案 フェロー制度規則変更の件（中村理事） 資料 P.19-20

フェロー制度規則の改正案を検討した。第 1 条および第 2 条から、正会員である者の条件を外す。

第 1 条「地球惑星科学において顕著な功績を挙げ、あるいは連合の活動に卓越した貢献をはかった正会員」を「日本の地球科学において顕著な功績を挙げた者」とする。第 2 条の第 1 文は「フェロー候補者は、」を残して削除し、(1) と連結させ、「フェロー候補者は、地球惑星科学研究領域におけるパラダイムシフトやブレイクスルーもしくは発見などを中心に、日本の地球惑星科学の発展に著しい貢献をした者」とする。第 2 条(2)は削除する。第 4 条(1)、候補者指名に「(和文および英文標記)」を追加、連絡先に「役職 (引退後は、これに変わる肩書き)」を追加し、「など」を削除する。(2) の候補者の履歴に、「専門分野」を追加する。附則(2) (正会員の条件についての附則) を削除する。改正日として 2014 年 7 月 12 日を追加する。

以上を承認した。

第 3 号議案 公益認定委員会への変更認定申請の件（中村理事） 資料 P.21-29 および別添資料

内閣府公益認定等委員会事務局に提出する変更認定申請書、および平成 27 年 3 月 31 日時点での貸借対照表予想を検討した。これらを承認し、提出することとした。

地球惑星科学振興西田賞規則第 6 条に基づき、推薦及び審査の日程案を検討し、これを承認した。

第 4 号議案 委員会委員追加承認の件（古村理事）資料 P.30-33

各委員会の追加推薦名簿が提出された。推薦名簿を承認した。

第 5 号議案 ジャーナル企画経営委員会ならびにジャーナル編集委員会規則設置の件  
(古村理事, 川幡理事) 資料 P.34

ジャーナル企画経営委員会規則を、委員数 20 名以下、副委員長 1 名とした上で、案の通り承認した。ジャーナル編集委員会規則を、委員数 100 名以下、副委員長 1 名とした上で、案の通り承認した。

第 6 号議案 学術出版委員会廃止の件（古村理事） 資料 P.35

学術出版委員会の廃止を検討し、承認した。

第 7 号議案 大会運営委員会情報局廃止の件（古村理事） 資料 P.38

大会運営委員会情報局の廃止を検討し、承認した。

第8号議案 ユニオンサイエンスボードメンバー承認について（津田会長） 資料 P.39-40  
ユニオンサイエンスボードのメンバーについて、案の通り、会長津田敏隆理事、副会長川幡穂高理事、木村学理事、中村正人理事、宇宙惑星科学セクション佐々木晶プレジデント、大気水圏科学セクション中島映至プレジデント、地球人間圏科学セクション氷見山幸夫プレジデント、固体地球科学セクション大谷栄治プレジデント、地球生命科学セクション小林憲正プレジデント、連合理事として古村孝志理事、有識者として田近英一会員を承認した。また、今後も追加メンバーを検討し、理事会の承認を経て追加する。

第9号議案 連合の国際対応について（木村理事） 資料 P.41-47

連合の国際対応について検討し、意見交換を行った。

木村理事より、現在、2016年大会をAGUとのジョイントミーティングとして開催することを検討している旨報告があった。

2016年に多くの国際セッションを開催するために、2015年にも国際セッションを増加させたほうがいいのかという意見があった。

現段階で、毎年、隔年、四年毎など定期的に共同開催を決定する必要はないが、各国際大会や外国の学会との共同開催、共同セッションなどについては、今後の国際化の一段階として積極的に検討すべきという意見があった。またその際、連合全体として共同開催としなくても、セクション毎、セッション単位などでのジョイントも有効なのではないかという意見が合った。

国際学会に出席する日本人研究者の数が低下している現状があり、科学の最前線として日本が存在感を示すことができるよう、緊急に手を打たなければならないという意見があった。

他の国際大会との関係、アジア諸国の学会との関係を含め、連合の長期的なビジョンをもつべきであるという意見があった。

また、国際化にあたって、事務局の体制強化が必要であるという意見があった。

連合の国際対応については、今後も検討してゆくこととなった。

第10号議案 連合大会の英語化への取り組み方法（浜野理事） 資料 P.48-56

国際セッションの増加は国際化においては重要であり、具体的な目標を掲げて推進すべきという意見があった。

一方で、数値目標の設定による英語化の強制力の発生によって、セッションの参加者の減少、発表内容の品質の低下などが危惧されるため、数値目標を設定せず、内容を充実させることを優先させるべきという意見があった。また、参加学協会との連携も重視しなければならないという意見があった。また英語での発表が必ずしも国際化とは直結しないこ

とも留意すべきという意見があった。

英語化の程度や方法については、今後も検討してゆくこととなった。

第 11 号議案 連合大会でのフェロー懇親会（仮）の開催（浜野理事） 資料 P.57

2015 年大会にてフェロー懇親会（仮）を開催することを検討した。これを承認した。

第 12 号議案 追加予算承認の件（西理事） 資料 P.58-61

平成 26 年度追加予算として、フェロー特集冊子の印刷費および学会センタービル 5 階賃貸料を検討し、承認した。

第 13 号議案 フォトンファクトリーにおける放射光実験ビームタイムの確保に関する連合としての要望書について（古村理事） 資料 P.62-66

フォトンファクトリーに関する要望書について、連合として賛同し連名することの是非を検討し、これを承認した。

第 14 号議案 とうきゅう環境財団社会貢献学術賞候補の推薦者について（中村理事）

資料 P.67-72

とうきゅう環境財団社会貢献学術賞候補として、地球人間圏科学セクションより推薦のあった吉野正敏氏を推薦することを承認した。

第 15 号議案 その他

委員会幹事承認の件（津田会長） 資料 P.34

津田会長より、委員会幹事の推薦があった。大会運営委員会、情報システム委員会には横山央明会員、グローバル戦略委員会には関華奈子会員、橘省吾会員、広報普及委員会には橘省吾会員、横山広美会員、環境災害対応委員会には小荒井衛会員が推薦された。これを承認した。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後 17 時 00 分）  
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

平成 26 年 7 月 12 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 4 回理事会

出席理事	津田	敏隆	印
出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	瀧上	豊	印
出席理事	田中	賢治	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	畠山	正恒	印
出席理事	濱野	洋三	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席理事	渡邊	誠一郎	印